



平成 29 年 7 月 19 日

各 位

会 社 名：ダイハツディーゼル株式会社
代表者名：代表取締役社長 木下 茂樹
(コード番号 6023 東証第 2 部)
問合せ先：管理統括部 水科 隆志
(TEL. 06-6454-2331)

船用補機関向け次世代メンテナンス支援サービス初受注のご案内

ダイハツディーゼル株式会社（社長：木下茂樹、本社：大阪府大阪市北区）は、「船舶の安全運航とライフサイクルコストの低減サポート」をコンセプトに開発された、クラウドベースによる次世代型の機関状態監視システム「CMAXS LC-A」（註 1）を利用したメンテナンス支援サービスを、株式会社商船三井（社長：池田潤一郎、本社：東京都港区）運航船へ搭載される補機関向けに、初受注しました。

この支援サービスは、NK-CMAXS アライアンスパートナー（註 2）の主機関、補機関、及び補機類等を CMAXS 共通プラットフォーム上にて一括運用・管理可能なサービスとして、(株) Class NK コンサルティングサービス（社長：野村大吉、本社：東京都千代田区）が販売窓口となり、提供を開始しています。

「CMAXS LC-A」の主要なサポート機能として、様々なセンサーより得られる機関データを元に、機関状態の自動診断機能を有する事で、早い段階で機関の状態変化をお知らせし、適切なメンテナンスを促すことで、故障発生等によるダウンタイムロス(逸失利益)の未然防止に貢献します。

船上におけるメンテナンス作業の支援機能として、トラブルシューティング機能が搭載されており、異常検知時には不具合原因となる部品とトラブル事例を列挙し、その対処に必要なメンテナンスマニュアルやサービス情報を有機的にリンクさせることで、お客様のスムーズなメンテナンス作業を補完・支援します。

また、クラウドサーバ上に構築される CMAXS Web Service（註 3）では、船陸間通信を使った機関データ等の情報共有が自動的に行われるため、契約船舶の主機・補機関や船用機器の一元管理が可能になります。最新の技術を活用した次世代の機関状態監視システム・統合型メンテナンス支援ソリューションです。

当社は、「環境対応」ソリューション製品（SCR 排ガス処理技術及び環境負荷低減製品等）のラインナップを拡充し、「IoT 技術により製品とサービスを融合」した製品や顧客サポートサービス等の導入を進め、「地球環境に優しく、お客様の利便性を高め・安全、かつトータルライ

「フサイクルコストの低減」へ繋がるソリューションの選択肢を着実に増やしていきます。

当社による本「CMAXS LC-A」システムとサービスの提供は、BARI-SHIP（2017年5月25日－27日）及びNOR-SHIPPING（2017年5月30日－6月2日）へ正式出展の上、本年6月度より本格的に販売開始しております。

以上

- 註1）CMAXS LC-A は、複数の船用機器メーカーの協業の下、機器の種類を問わず診断とサポートを行う事ができることを目指して構築された、統合型状態診断・メンテナンス支援の為の共通プラットフォームです。
- 註2）NK-CMAXS アライアンスパートナーは現在（株）Class NK コンサルティングサービス、（株）ディーゼルユナイテッド、日立造船（株）、三井造船/三造テクノサービス（株）、（株）マキタ、（株）浪速ポンプ製作所、及び当社により構成されています。
- 註3）CMAXS Web Service では、CMAXS 契約者様の契約船舶を一元管理するホームページが用意されます。インターネット経由でアクセスする事で、どこからでも船舶の業況を把握できます。フリートリストから本船と同じ監視画面にリンクして同じデータを閲覧出来ますので、乗組員と同じ目線での危機管理やトラブル対応が可能です。



～CMAXS LC-A の船内運用イメージ図～

本船に搭載される CMAXS e-GICISX, CMAXS LC-A 共用コンピュータでは、補機関の状態を監視し、早い段階での機関状態の変化をお知らせし、適切なメンテナンスを促すことで、故障発生等によるダウンタイムロス（逸失利益）の未然防止に貢献します。

【本件に関するお問い合わせ先】

販売統括部 稲田 : 06-6454-2394